

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	大崎広域ほなみ園		
○保護者評価実施期間	令和6年11月26日	～	令和6年12月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 28人	(回答者数)	23人
○従業者評価実施期間	令和6年11月26日	～	令和6年12月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 17人	(回答者数)	17人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	園児一人一人の発達段階に合わせた多様なプログラムを提供し、柔軟に対応できる点。園児の状態やペースに寄り添い、最適な支援を提供できるように努めている。	多職種の職員が連携して、子供の様子を観察し、支援方法を随時相談・見直しをすることで、質の高いサポートを実現している。	園児一人一人の障害特性や課題に合わせた教材を充実させていきたいと考える。
2	専門的な資格を持っている職員、児童福祉サービスに携わっている経験年数が多い職員が多いため、園児の特性や支援方法など多角的な視点から意見し療育につなげている。	ケース会議や、個別支援計画書を作成する際に意見を求めあひ、園児にとってどのようなプログラムなら楽しくかつ、成長の一つになるのかを職員全員で考え実施している。	多職種の職員がいるので、連携を図りながら療育の幅を広げること、引き続き、園児にとってより良い療育を提供していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民等とのかかわりが希薄になっている。	地域住民等が参加できる行事は実施していない。	外部の方を参集した場合、危機管理の徹底がいつも以上に重要となる。地域住民等の方々との交流する機会を段階的に実施できるように検討する。
2	きょうだい支援の提供が難しい。	行事は人数制限を設けている。	部分的に緩和しながら、きょうだい同士が交流する機会を検討する。

○第三者評価

	外部評価コメント
1	<ul style="list-style-type: none"> ・予算的なものもあるので、施設設備については抜本的な改善は難しいと思いますが、今後も、構造的な工夫などで、園児が安心して生活できる環境をつくっていただければと思います。 ・職員から「いいえ」と回答した方が多くて改善点が多い、又、職員各々の認識の違いがあるのではないだろうか。 ・職員の動きやすさと、基準は必ずしも一致しないのが常ですので、職員間のコミュニケーションを一層深め、利用者第一義としながら、計画的に環境の改善が図られることを期待します。引き続きのご対応について、よろしくお願いたします。 ・設置基準を遵守し、余裕のある活動スペースであってほしい。基準の常動換算プラスの人員配置ができればいいと思う(障害の状態にもよるが)。発達障害など特性に配慮した表示、かわり方が必要であると思う。気候の変動で感染症への対応がこれまで以上に難しくなると考える。個別・集団の活動は個々の状況に合わせて重要であるとする。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好であると考えられます。気付きを大切に、業務内容を常にブラッシュアップしていく姿勢が大事だと思います。 ・第三者による外部評価とは、この虐待防止等委員会も含まれるのだから、親御さんの認識度が低いのではないだろうか。それとも委員会での提案が実施されていないことを指しているのか不明。 ・職員一人一人が高い意識をもって、日々、業務改善に取り組まれていることが伺われます。引き続きのご対応について、よろしくお願いたします。 ・目的を具体的に進めるためにも職員の意識共有が業務改善のきっかけになる。保護者が声を発しにくい場合の手立てがあればいいのでは。エンドレスではなく時間を決めて、記録を残すことが必要だと思います。研修は職員の刺激にもなり、職員に伝達することが大切だと思います。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域をはじめ他者との交流の機会を確保することは、将来の自立と社会参加への基礎づくりとしてとても大切になってくると思います。安全面を確保しながらの実施は、工夫が必要ですが、是非積極的に取り組んでいただければと思います。 ・否定的な回答を行っている人は特定の人の気がする。他の子供らとの交流についても園で十分と思えている回数と親御さんとは齟齬が生じている。 ・児童・保護者のためにという利用者ファーストの意識が、職員の方々に浸透していることが伺われます。引き続きのご対応について、よろしくお願いたします。 ・個人情報を守り公表ください。家庭との聞き取り、やり取りも記録にあるといいですね(メモ的な)。担当職員だけではなく、全職員という感覚は大切だと思います。具体的な内容を示すことは、家族の参画意識につながればと思います。活動プログラムのメニューは専門性を取り入れつつ大変だと思います。振り返りは重要で早いうちに職員と課題を埋めていきたいと思っています。記録は滞らないよう努めてください。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好であると考えられます。 ・概ね評価をいただいているので良いと思う。 ・他の機関や保護者との、連携やコミュニケーションが常に図られていることが伺えます。引き続きのご対応について、よろしくお願いたします。 ・児童発達支援においては病院看護師の視線とは違う意見は重要だと思います。周りの子供たちと接することは地域で暮らすことの第一歩だと思います。ほなみ園利用は本人家族にとって成長するための初めての入口です、重要と思います。家族が求めることを理解した上で職員との信頼関係ができればと思います。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ情報の発信でも、保護者によって十分と捉えるか、不十分と捉えるかが異なると思います。また、ウェブなのか紙なのか等の手段によっても異なります。難しいですが、保護者のニーズを的確に把握しながら、可能な方法を選択していくしかないかと思っています。 ・「どちらともいえない」と回答した親御さんに対しては、今一步のフォローでコミュニケーションが図られると思います。 ・保護者との丁寧なコミュニケーションが図られ、納得と共感、共通理解のもとにサービスを提供していることが伺えます。保護者同士の交流は、同じような、あるいは異なる境遇にあるご家庭の力となり、地域との交流は、災害等の緊急時における相互扶助機能の原動力になるとも思われますので、一層、相互の顔が見える関係性の構築が図られることを期待します。 ・支援計画は家族との連携、協力が求められること。家族からの悩み相談、職員の気付きが支援計画に反映したりサービスにつながるというですね。親の会活動の主体はどこのか、職員の負担にならないといいですが。事業に招いたの行事は一大イベント?計画大変ですね。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好であると考えられます。今後も共通理解と最新情報の更新をお願いします。 ・訓練やマニュアルが完成されているので有事の時に役に立たない。有事の際は気が動転してしまい正確にできないことが多い。機転を利かせることや判断力を養うための別な形の研修も必要がある。 ・さまざまな想定のもとに、各種マニュアルやBCP等が整備され、しっかりと計画に基づいた運営がなされていることが伺われます。引き続きのご対応について、よろしくお願いたします。 ・各マニュアルは、定期的に見直し/バージョンアップが必要だと思います。複数人服薬がいた場合は、誤薬にならない対策が必要。園内給食提供でアレルギーの範囲も広く神経を使うところだと思います。虐待を疑うのではなく、虐待にあたらないかという導入から客観的に捉えたい。

※1 環境・体制整備, 2 業務改善, 3 適切な支援の提供, 4 関係機関や保護者との連携, 5 保護者への説明等, 6 非常時等の対応